



KUDO NEWS

第 50 期 報告書

自 2020年7月1日 至 2021年6月30日



工藤建設株式会社



「地域に必要とされる企業でありたい」お客様の



代表取締役
工藤 英司

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第50期（2020年7月1日から2021年6月30日まで）の業績の概要と、当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

◆ 国内経済及び ◆ 建設・不動産業界、介護業界について

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況に推移しております。感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を推進するなかで、政府による各種政策の効果等や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されているものの、感染拡大による社会経済活動への影響が内外経済活動を下振れさせるリスクの高まりに十分注意する必要がある状況です。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移してきており、新型コロナウイルス感染症の影響による民間企業の経営環境の悪化に伴う建設投資は持ち直しの動きがみられますが、今後も建設需要やニーズの変化に対して注視が必要な状況が続いております。

住宅業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による新設住宅着工戸数は、持家・分譲住宅においてはおおむね横ばいとなっており、貸家においては底堅い動きとなっております。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、社会インフラとしてサービスの安定供給が一層高まるなか、介護事業者については、有効求人倍率が高い数値で推移しており、引き続き介護人材の確保と組織づくりが介護事業者の課題となっております。

感動を創造する企業を目指してまいります。

◆ 当事業年度の業績と ◆ 次期の業績見通しについて

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、当事業年度における業績は、売上高198億1百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益6億1百万円(前年同期比10.9%減)、経常利益5億51百万円(前年同期比5.6%減)、当期純利益3億55百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、ワクチン接種や経済対策等の各種政策により個人消費や企業収益が徐々に回復に向かうことが期待されますが、不確実性の高い状況が当面継続すると考えています。

① 建設・住宅事業の見通し

建設事業につきましては、公共投資は2021年度予算において前年度とほぼ同水準が確保されている一方、民間投資については今後も厳しい水準が続いていくことが見込まれます。

当社におきましては、お取引先の設備投資計画の中止や延期等の影響は現在までのところ限定的であります。住宅事業につきましても、感染が再拡大する可能性も高まっております。外出自粛要請による集客数の減少が受注の減少に結び付く可能性があります。

当社といたしましては、進行中の案件に適切に対応するとともに、増加が見込まれるリノベーション工事への取り組みを一層強化してまいります。受注高につきましては、121億円を見込んでおります。

今後も引き続き、工事作業所を含め、全事業所で新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、事業を遂行してまいります。

② 介護事業の見通し

介護事業につきましては、当社が老人ホーム運営を中心に行っていることから、引き続き感染予防策として外部からの入館制限や関係者の検温、健康チェック、手洗い、うがい、手指消毒、マスク等の着用に加え、施設内の換気の徹底やアルコール消毒等を行う必要はありますが、クラスター感染等が発生しない限り業績への影響は軽微であると考えております。

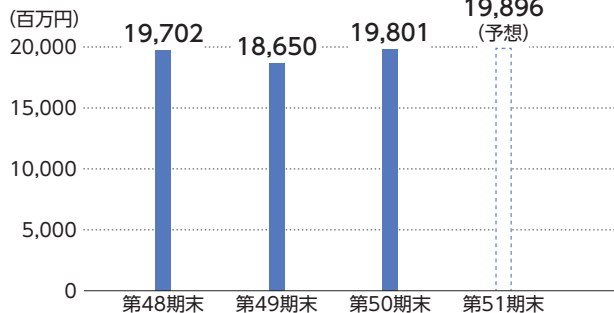
以上により、2022年6月期の業績予想に関しましては、売上高198億96百万円、営業利益4億68百万円、経常利益3億83百万円、当期純利益2億41百万円を予定しております。

なお、当該業績予想は、個別事業ごとに新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したものとしており、その影響につきましては、現時点では軽微なものと認識しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、適時適切に開示してまいります。

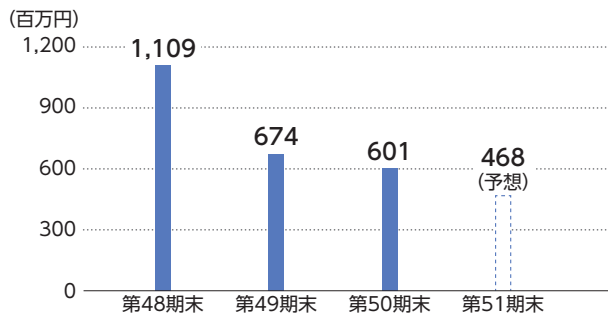
2021年9月

財務ハイライト

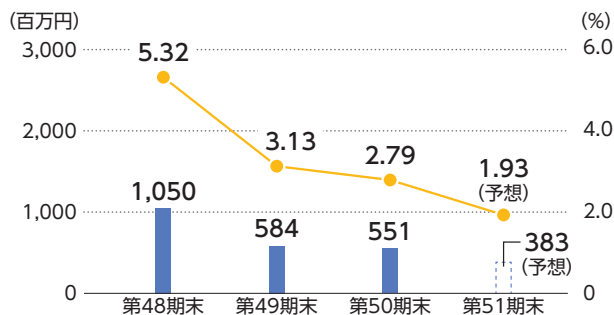
●売上高



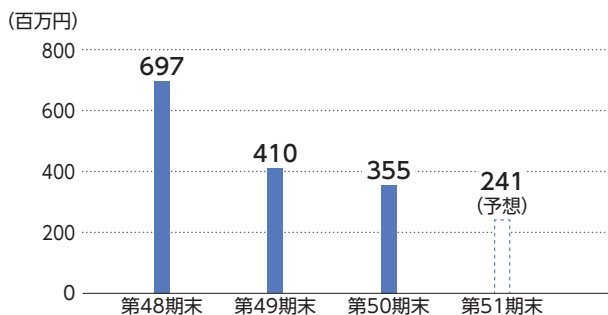
●営業利益



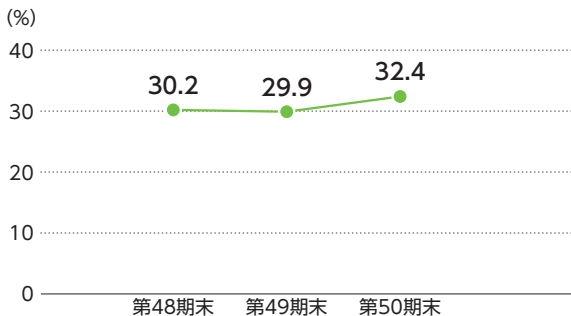
●経常利益／売上高経常利益率



●当期純利益



●自己資本比率



～17棟目の施設がOPEN～

グランツリー、東急スクエア、ららテラスなど大型商業施設やタワーマンションが立ち並ぶ人気の街、武蔵小杉に、当社17棟目の施設「フローレンスケア武蔵小杉」が2021年10月にオープンいたします。地域に根差した企業づくりを標榜する当社が、地域の介護福祉へ貢献できるように運営してまいります。

フローレンスケア武蔵小杉

住宅型
有料老人
ホーム



フローレンスケア武蔵小杉

- ◆JR南武線「武蔵小杉」駅 徒歩9分 ◆東急東横線「武蔵小杉」駅 徒歩10分
- ◆全室個室ユニット
- ◆看護師24時間体制
- ◆リハビリテーション(機能訓練指導員常勤)

<https://www.good-care.jp/>

建設事業部

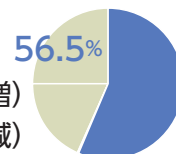


住宅事業部



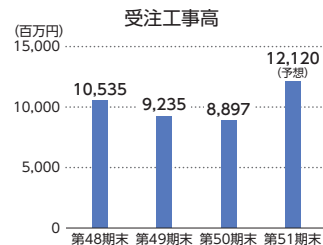
建設事業

売上高 111億79百万円(11.8%増)
営業利益 6億78百万円(9.3%減)



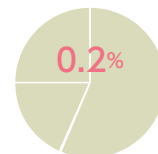
当事業年度における受注高は、建設部門、住宅部門を合わせ88億97百万円(前年同期92億35百万円)となりました。売上高は、手持ち工事の順調な進捗により前年同期実績を上回りましたが、好採算案件が減少したことにより営業利益は前年同期実績を下回りました。

以上の結果、住宅部門を合わせた当事業の売上高は111億79百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は6億78百万円(前年同期比9.3%減)となりました。



不動産販売事業

売上高 33百万円
営業利益 30百万円

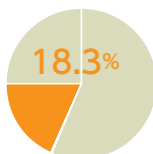


当事業年度における不動産部門に係る売上は仲介手数料のみとなりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は33百万円、営業利益は30百万円となりました。(前年同期売上高はございません。)

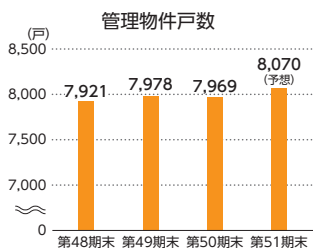
建物管理事業

売上高 36億28百万円(2.1%減)
営業利益 2億38百万円(46.7%増)



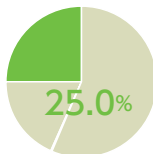
建物管理部門では、手持ち大規模修繕工事及び管理棟数の減少により売上高は前年同期実績を下回りました。一方、営業利益については前年転貸損失引当金の追加計上が発生していたため、当事業年度は前年同期実績を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は36億28百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は2億38百万円(前年同期比46.7%増)となりました。



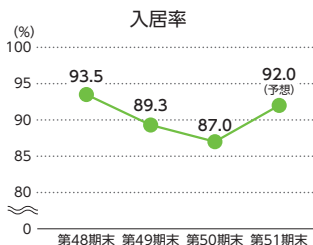
介護事業

売上高 49億60百万円(0.4%増)
営業利益 2億60百万円(20.1%減)



介護部門では、新規施設を開所したことにより定員数が増加し、入居率も上昇しましたが、それに伴う費用の増加のため、営業利益は前年同期実績を下回りました。

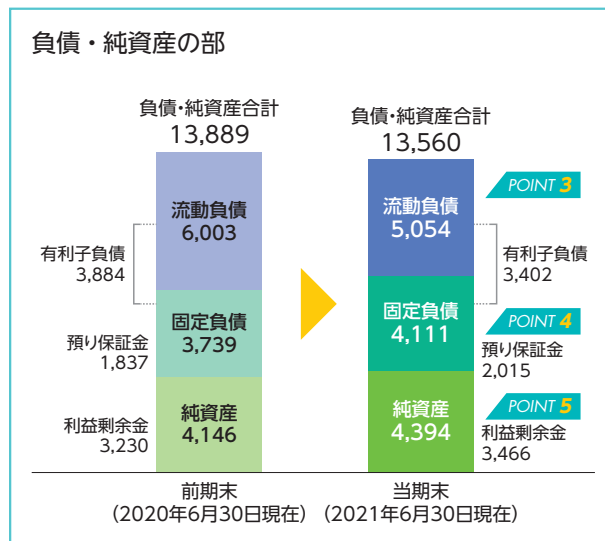
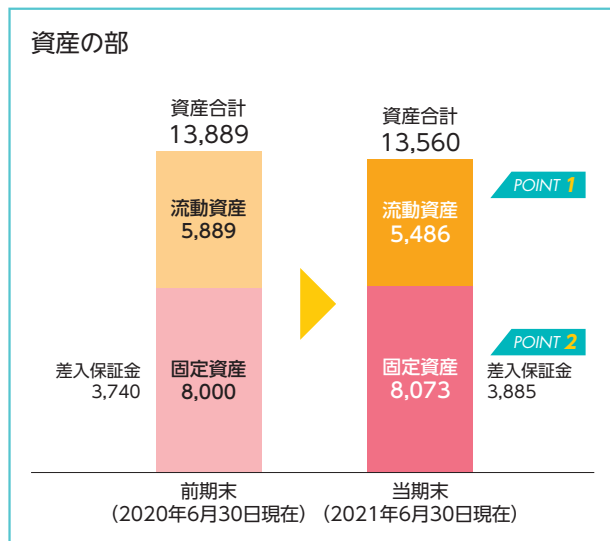
以上の結果、当事業の売上高は49億60百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は2億60百万円(前年同期比20.1%減)となりました。



財務データ

● 貸借対照表

(単位:百万円)



POINT 1

当事業年度末における流動資産の残高は54億86百万円(前事業年度末残高58億89百万円)となり、4億2百万円減少しました。その主な要因は、現金預金が8億90百万円増加し、完成工事未収入金が7億13百万円、立替金が2億28百万円減少したことによるものであります。

POINT 2

当事業年度末における固定資産の残高は80億73百万円(前事業年度末残高80億円)となり、73百万円増加しました。その主な要因は、差入保証金が1億45百万円増加し、リース資産が69百万円、のれんが38百万円減少したことによるものであります。

POINT 3

当事業年度末における流動負債の残高は50億54百万円(前事業年度末残高60億3百万円)となり、9億49百万円減少しました。その主な要因は、未払金が51百万円増加し、短期借入金が7億10百万円、工事未払金が3億85百万円減少したことによるものであります。

POINT 4

当事業年度末における固定負債の残高は41億11百万円(前事業年度末残高37億39百万円)となり、3億71百万円増加しました。その主な要因は、長期借入金が増加し、リース債務が66百万円減少したことによるものであります。

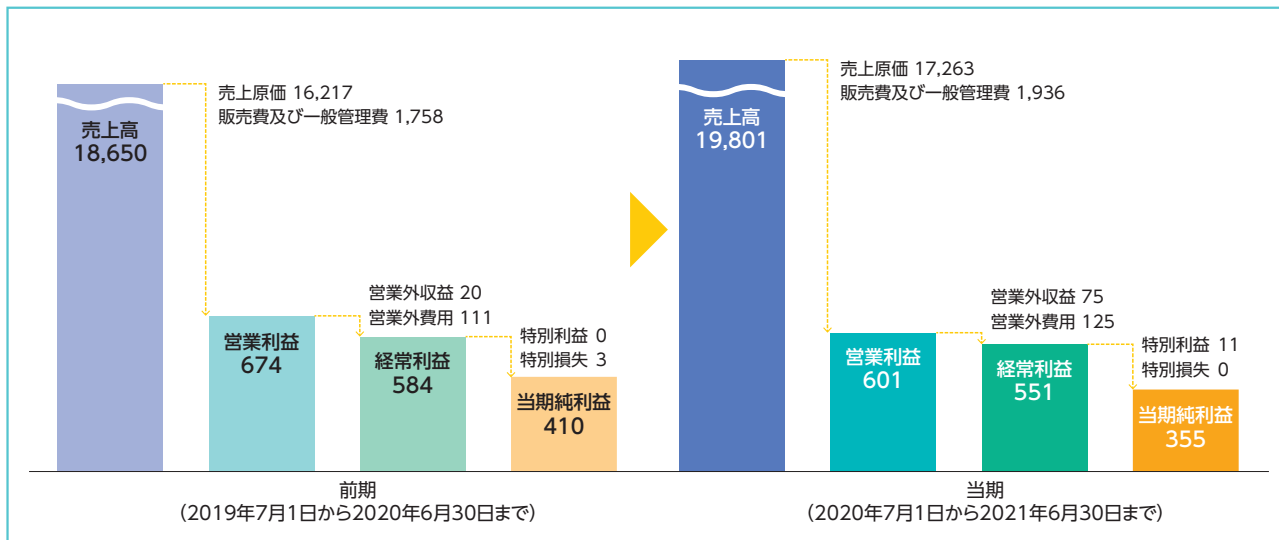
POINT 5

当事業年度末における純資産の部の残高は43億94百万円(前事業年度末純資産残高41億46百万円)となり、2億48百万円増加しました。



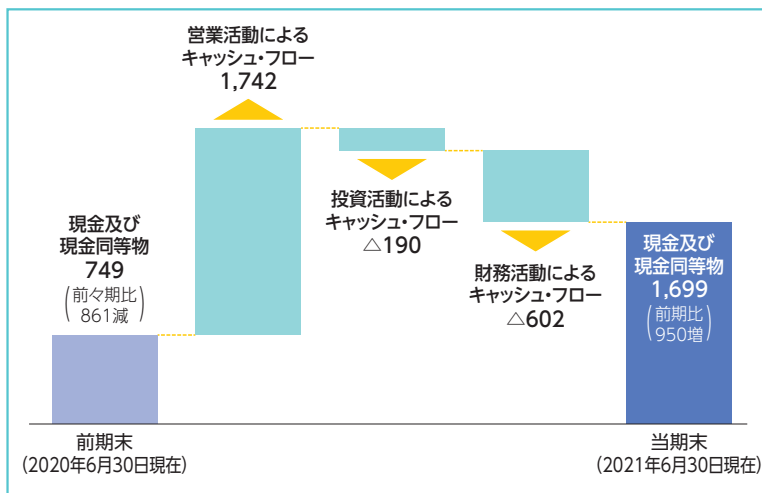
● 損益計算書

(単位:百万円)



● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



当社ホームページのご案内

財務の詳しい内容やIR情報は、
当社ホームページからご確認いただけます。



工藤建設

検索

会社概要

会社概要 (2021年6月30日現在)

商号 工藤建設株式会社
設立 1971年(昭和46年)7月1日
代表者の氏名 工藤 英司
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数 604名(男性292名、女性312名)

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役	工藤 英司	
常務取締役	工藤 隆晃	営業全般統括
常務取締役	藤井 研児	介護事業部長
取締役	田崎 功	建設事業部長
取締役	秋澤 滋	経営管理部長
取締役	中山 仁	住宅事業部長 兼不動産開発室長
取締役	工藤 隆司	
取締役	平沼 義幸	(社外取締役)
取締役	内田 裕子	(社外取締役)
常勤監査役	庄司 盛弘	
監査役	苫米地 邦男	(社外監査役)
監査役	水上 亮比呂	(社外監査役)
執行役員	白坂 義道	(建物管理事業部長)
執行役員	島山 靖浩	(住宅事業部長)

事業所

①本社

神奈川県横浜市青葉区
新石川4-33-10
TEL. 045-911-5300 (代表)
FAX. 045-911-3960

②東京支店 (建設事業部)

東京都港区芝5-5-2 原野ビル3F
TEL. 03-5419-1792
FAX. 03-5419-1793

③港北ニュータウン営業所 (建物管理事業部)

横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12
TEL. 045-415-8001
FAX. 045-415-8033

④フローレンスケアたかつ

川崎市高津区久末1744-2

⑤フローレンスケア美しが丘

横浜市青葉区美しが丘4-43-4

⑥フローレンスケアたまプラーザ

川崎市宮前区犬蔵2-17-65

⑦フローレンスケア港南台

横浜市港南区港南台6-5-13

⑧フローレンスケア宿河原

川崎市多摩区宿河原6-12-29

⑨フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘

東京都府中市日新町5-53-1

⑩フローレンスケア芦花公園

東京都世田谷区南鳥山2-32-28

⑪フローレンスケア荻窪

東京都杉並区荻窪2-4-29

⑫フローレンスケア横浜森の台

横浜市緑区森の台12-12

⑬フローレンスケア宮前平

川崎市宮前区宮前平2-9-2

⑭フローレンスケア溝の口

川崎市高津区下作延3-6-2

⑮フローレンスケアホーム千鳥町

東京都大田区千鳥3-21-3

⑯フローレンスケアホーム川崎大師

川崎市川崎区昭和2-5-6

⑰フローレンスケアホーム鎌倉

鎌倉市岩瀬1-13-1

⑱フローレンスホーム洋光台

横浜市磯子区洋光台3-24-26

⑲フローレンスケア調布

東京都調布市小島町1-16-3

⑳フローレンスケア武蔵小杉

(2021年10月オープン予定)
川崎市中原区今井上町8-24



株式情報

株式の状況 (2021年6月30日現在)

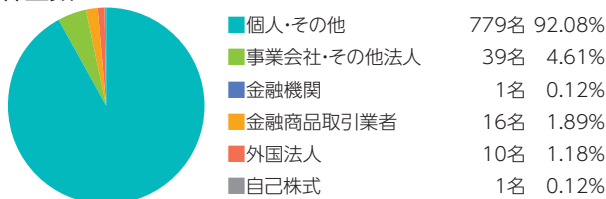
発行可能株式総数	4,400,000 株
発行済株式の総数	1,331,220 株
株主数	846 名

大株主 (2021年6月30日現在)

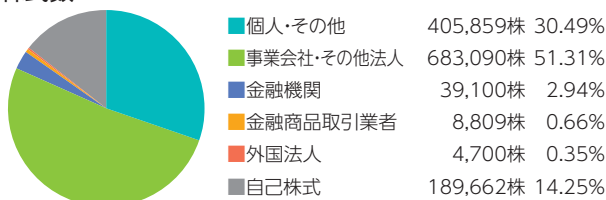
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社トップ	557,100	41.84
工藤建設株式会社	189,662	14.24
工藤 英司	39,819	2.99
株式会社MOMOコーポレーション	39,700	2.98
株式会社横浜銀行	39,100	2.93
工藤 次郎	33,513	2.51
八重沢 知正	32,015	2.40
工藤建設従業員持株会	20,180	1.51
川本工業株式会社	18,060	1.35
武笠 清一郎	18,000	1.35

所有者区分別株式分布状況

株主数



株式数



株主メモ

事業年度	7月1日～翌年6月30日
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL <https://www.kudo.co.jp/>

(ただし、電子公告による事ができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

証券会社を ご利用の株主様	口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録 された株式を ご所有の株主様	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎0120-232-711 受付時間／土・日・祝日を除く 9:00～17:00

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様

配当金は、銀行口座等でお受け取り出来ます。

配当金領収証により配当金を受け取っている株主様は、お受け取り方法を銀行口座等での受け取りに変更する事をお勧めいたします。銀行口座等への振込は、お受け取りの手間を省く事が出来、確実、かつ迅速に配当金を受け取る事が出来ます。

詳細は、口座を開設されている証券会社等までお問い合わせください。

私たちは、常に時代を読み、新しい市場・技術・サービスを開発し、フローレンスブランドを確立します。

工藤建設の4つのフィールド

工藤建設の事業には建設・不動産、注文住宅、建物管理、介護の4分野があります。

各事業部が個々の専門分野に精通し、成果を上げるのはもちろん、必要に応じて事業部間で連携を図りながら、それぞれが持つ経験や技術力などを結集し、トータルにサポートします。



*「フローレンス」とは……
イタリア中部、トスカーナ地方の都市フィレンツェの英語名。「花の都」という意味があります。



工藤建設株式会社

神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
TEL: 045-911-5300 (代表)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。